

川口市立芝西中学校 部活動方針

＝ 基本コンセプト ＝

- I 同年齢や先輩後輩、教師と生徒等との好ましい人間関係づくり、責任感、自己肯定感、連帯感、向上心等を育成するとともに、生徒の心身の健康の増進を図ります。
- II 学習活動と部活動との両立を通して、充実した学校生活の実践を図ります。
- III 計画的かつ効率的な活動の実践を通して、生徒と顧問教師の負担を軽減を図ります。

□ 具体的な本校の部活動について □

設置部活動

バスケット部

卓球部

女子バレー部

女子ソフトテニス部

男子ソフトテニス部

サッカー部

陸上部

水泳部

野球部

体操・新体操部

総合文化部

美術部

将棋・生活技術部

入部について

◆ 部活動の教育的意義を鑑み、学校教育活動として位置づけていますので、積極的に部活動へ加入してください。

※クラブチーム等社会教育機関に所属し、上記基本コンセプトと同一の活動をしている生徒については、その活動日の部活動を免除することができます。（届出が必要になります。）

★赤字で記載されている内容は、川口市中学校全27校が共通して取り組む事項です。

活動日・時間

- ◇ 1日の活動時間は、平日は2時間程度、休業日は3時間程度とします。
 - ・活動準備、片付け、移動に要した時間につきましては、活動時間に含みません。
 - ・朝練習は実施しない。
 - ・学総や市民体育祭など、事情により活動時間を超えて実施する場合は、30分の活動時間延長を認める。
- ※ 公式の大会における活動時間は、大会要項及び運営によって実施されますので、上記の活動時間の制限はありませんが、連続した週休日両日とも実施された場合は、別日の活動日の1日を休養日として振り替えます。

◆ 平日の活動

1年間 活動終了時刻 16:45 完全下校時刻 17:00 となります。

◆ 週休日・休日の活動

週休日・休日は各部活動ごとに設定されますが、活動時間は3時間程度となります。

- ※ 公式の大会（教育委員会及び体育協会が主催する大会）における活動時間は、大会要項及び運営によって実施されますので、上記の活動時間制限はありませんが、連続した週休日両日とも実施された場合は、別日の課業日・週休日のいずれかを休養日として振り替えます。
- ※ 練習試合やクラブ等が主催する大会（所謂ローカル大会）については、上記の活動時間の範囲内とし、活動時間（会場への移動時間等は含みません）を超えて実施した場合は、超過時間分を別日の活動日に休養日として振り替えます。

休養日・オフシーズンについて

- ◆ 学期中は、週2日以上（平日1日と土日いずれか1日）を休養日とします。
- ◆ 長期休業日（春・夏・冬休み）及びゴールデンウィーク等では、課業日と同様に週2日以上の休養日を設定します。
- ◆ 学校閉庁日の8月10日～から16日、年末年始休業12月28日～1月4日、県民の日はオフシーズンに設定します。

- ◆ 休養日及びオフシーズンにおいて、大会前等など事情により活動する場合は、2時間を超えない範囲で活動し、別日を休養日とします。
- ◆ 定期考査1週間前の部活動は休養日とします。（但し、県大会等(ローカル大会を含む)が近日中に行われる場合は、通常よりも短縮して活動することがあります。）

注) 休養日等を活動する場合や活動日の時間延長については、校長の承認が必要です。

事故防止等について

- ◆ 施設や設備の点検を定期的実施し、事故の防止に努めます。
 - ◆ 勝利主義の過度な練習に偏らず、効率的に技術向上を目指した安全な練習メニューを実施し、生徒が自主的・自発的に活動できるようにします。体罰の防止に努めます。
 - ◆ 生徒同士、先輩後輩の良好関係を構築の部活動経営に努めます。
 - ◆ 携帯電話やメール（LINE等含）等により、顧問と生徒が直接連絡し合うことを禁止します。連絡は保護者に対して緊急配信メール（すぐメール）を使用するか、部活動保護者連絡網等により行います。なお、部員同士のLINEグループの扱いについては保護者の管理監督をお願いします。
 - ◆ 金銭事故を防止するため、部活動費用（部費など）を徴収及び執行する場合は、保護者の承諾を得るとともに、保護者の協力のもと適正な事務をい、管理職・保護者による会計監査を実施します。
 - ◆ 熱中症事故防止の徹底について下記の通り実施します。
 - 活動場所の気温が35℃を超えた場合は、直ちに部活動は中止します。
 - 35℃を超えない場合においても気温、湿度、ふく射熱を総合的に示した暑さ指数（WBGT）における熱中症予防運動指針を参考にしながら適切な水分・塩分の補給や日陰・室内等での休憩時間を設けるなど安全面考慮して活動します。
 - 各顧問が熱中症の症状の見極め、症状発生時の対応などの必要処置を習得し、迅速に対応できるよう研修を実施します。
- ※ 熱中症対策として、活動時間、活動場所、活動内容等を変更する場合があります。